

「資源循環型パッケージングカンパニー」を目ざして

2023年12月期第3四半期決算説明資料



竹本容器株式会社
(東証スタンダード市場 4248)
2023年10月31日

資料構成

1. 2023年12月期第3四半期トピックス

2. 2023年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



1. 2023年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ①

【業績】

- 連結売上高は、107億3百万円 (前年同期比4.7%減)
- 連結営業利益は、3億71百万円 (前年同期比44.9%減)
- EBITDAは、11億10百万円 (前年同期比22.0%減)

【特徴】

- 国内は化粧品容器向け需要の本格的回復までには至らないものの、製品単価見直し等の効果もあり、下期に入り利益率は改善傾向。中国はゼロコロナ政策解除後も消費マインドの冷え込み継続、競合先と競争激化。一方、インドは受注が堅調で計画達成の見込み
- バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器が伸長。新たに追加した区分※を含め資源循環型パッケージ売上は24億88百万円(連結売上高の23.2%) と拡大
※今期より「資源循環が容易に可能な製品」を集計対象に追加しております
- 国内は資源高継続。原材料費及び水道光熱費負担が前年同期比で増加

1. 2023年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ②

【日本】

- 売上面では化粧品容器向け需要の本格的回復までには至らず。売上高は84億50百万円(前年同期比0.3%減)にとどまる
- 一方、お客様の環境意識が一層高まり、資源循環型パッケージング売上が引き続き伸長。特に、バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器は引き続き需要増
- コスト面では資源高を受け、原材料費及び水道光熱費が増加したことから利益水準が低下
- 営業利益は原材料費・水道光熱費の負担増及び展示会での広告宣伝費増により5億77百万円(前年同期比19.2%減)と減益も、製品単価見直し等の効果もあり、下期に入り減益幅は縮小傾向に

1. 2023年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ③

【中国】

- 売上高は19億3百万円(前年同期比で23.6%減)と減収
- ゼロコロナ政策解除後の消費回復が鈍い中、お客様の在庫調整が長期化、競合先との競争激化など外部環境の変化もあり、受注が低調に推移
- 売上高の減少から工場稼働が低下し1億90百万円の営業赤字

【インド】

- 売上高は3億12百万円（前年同期比48.2%増）と過去最高を更新
- インド化粧品市場の活況が継続。営業活動を通じ当社の特徴(アイテム数の多さ等)が浸透し、取引顧客数も増加
- 売上増や生産能力向上に伴い粗利ベースで黒字を確保。金型増加により取扱製品数を拡大し顧客層拡大等の諸施策を実施するなど営業利益黒字化へ向けた取組みを継続

1. 2023年12月期第3四半期トピックス

市場区分の変更（スタンダード市場へ）

■ 市場区分変更の理由など

2023年4月施行の東京証券取引所の規則改正により、経過措置期間中に上場維持基準を充足できない場合の上場廃止リスクが排除できない状況
現在掲げている「2030年ビジョン」達成へ向けて、限られた経営資源を効果的に活用していくことがステークホルダーにとって望ましいものと考え、現時点で既に上場維持基準を充足しているスタンダード市場を選択

2023年10月20日付けで上場する市場区分をスタンダード市場に変更
今後とも上場企業として企業価値の拡大を図る方針

資料構成

1. 2023年12月期第3四半期トピックス

2. 2023年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



2. 2023年12月期第3四半期業績概要

2023年12月期第3四半期連結決算ハイライト

	2022年第3四半期 (1-9月期) ¥19.38/RMB ¥128.30/USD (※2)	2023年第3四半期 (1-9月期) ¥19.62/RMB ¥138.24/USD (※2)	前年同期比		2023年計画比 (※1)	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 11,225	百万円 10,703	百万円 ▲522	▲4.7%	百万円 ▲1,938	▲15.3%
営業利益	674	371	▲303	▲44.9%	▲582	▲61.0%
売上高営業利益率	6.0%	3.5%	▲2.5P	—	▲4.1P	—
経常利益	805	441	▲364	▲45.2%	▲539	▲55.0%
四半期純利益	303	209	▲94	▲31.0%	▲460	▲68.7%

減価償却費	748	738
原材料費	1,725	1,620
設備投資額 (うち 金型)	407 133	1,060 200
EBITDA	1,423	1,110
EBITDA比率	12.7%	10.4%

(※1) 期初に設定した計画との比較

(※2) 収益認識基準の変更に伴い、2022年第1四半期から有償支給した支給品等に係る収益は認識しない方法に変更済

2. 2023年12月期第3四半期業績概要

地域別グループ企業業績

百万円

日本	2022年第3四半期	2023年第3四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	8,478	8,450	▲28	▲0.3%	▲869	▲9.3%
営業利益	714	577	▲136	▲19.2%	▲335	▲36.7%
営業利益率	8.4%	6.8%	▲1.6P	—	▲3.0P	—

中国	2022年第3四半期 ¥19.38/RMB	2023年第3四半期 ¥19.62/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,490 (128)	1,903 (97)	▲586 (▲31)	▲23.6% ▲24.5%	▲1,066 (▲51)	▲35.9% ▲34.7%
営業利益	▲22 (▲1)	▲190 (▲9)	▲167 (▲8)	— —	▲256 (▲13)	— —
営業利益率	▲0.9%	▲10.0%	▲9.1P	—	▲12.2P	—

- 日本はお客様の環境意識の一層の高まりから資源循環型パッケージング売上が引き続き伸長。受注は本格回復までに至っておらず、3Q受注は2Q対比微減
- 利益面では資源高による負担増が継続。販売価格への転嫁を進めていることもあり、下期の営業利益率は改善傾向

- 中国は昨年12月のゼロコロナ政策解除後も化粧品需要が回復せず、在庫調整が長期化し売上は低迷
- 利益面でも売上減少により工場の稼働が低下したことから粗利額が減少し営業利益は大幅赤字に

※ () 内はRMBベース:百万円

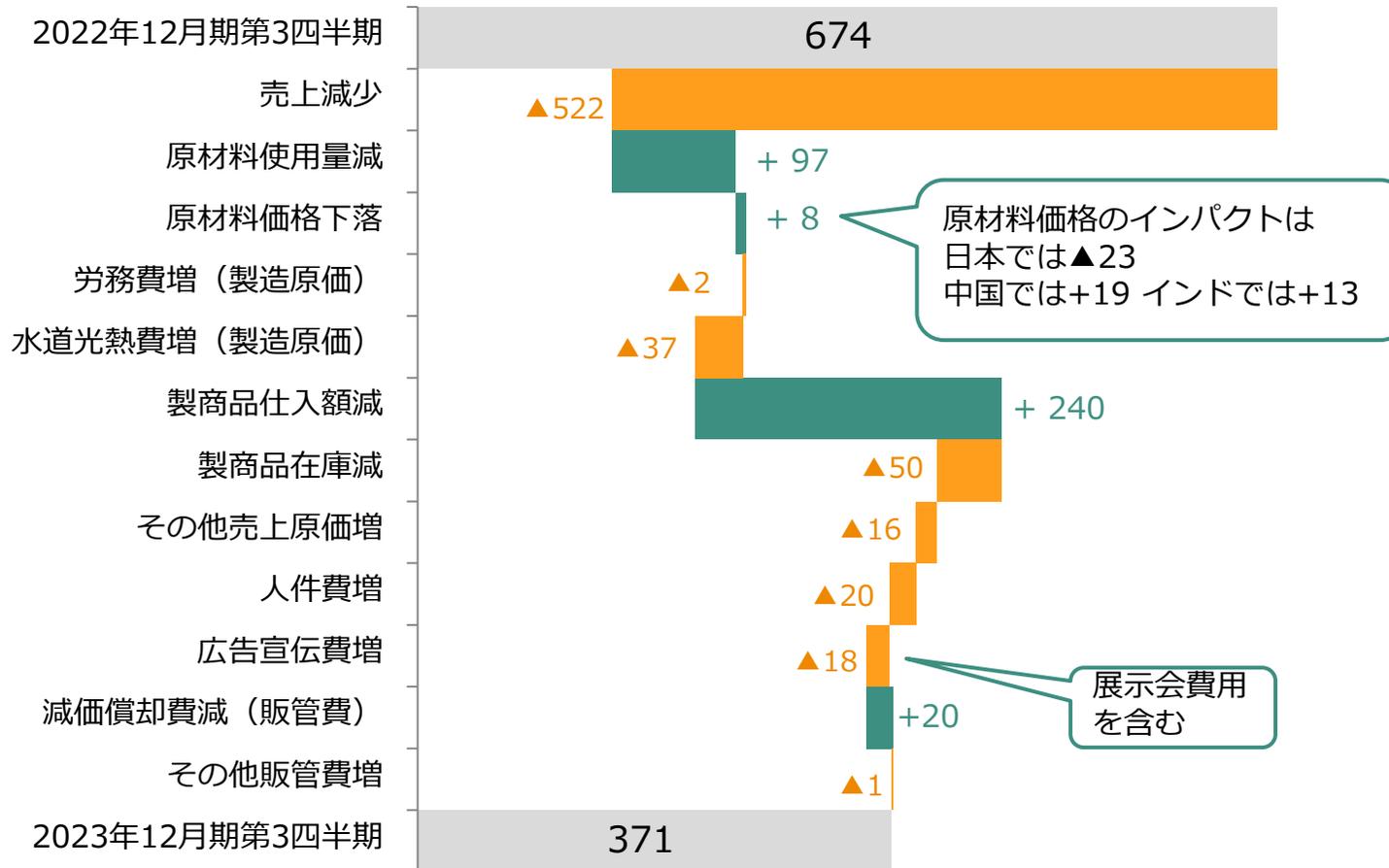
その他地域	2022年第3四半期 ¥128.30/US\$ ¥136.05/€ ¥1.67/INR ¥3.70/TB	2023年第3四半期 ¥138.24/US\$ ¥149.77/€ ¥1.69/INR ¥4.01/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	403	547	+144	+35.8%	+15	+3.0%
営業利益	▲21	▲20	+1	—	+4	—

- アメリカは大口顧客の受注増の影響で売上が計画比増で推移
- オランダはリピート増により売上が計画比、昨年比増で推移。EC在庫販売を開始し販路拡大を狙う
- インド国内化粧品市場の需要は旺盛。製品拡充効果もあり、新規顧客を取込み需要増。売上は昨年比増で推移

2. 2023年12月期第3四半期業績概要

2023年12月期第3四半期 営業利益の変動分析

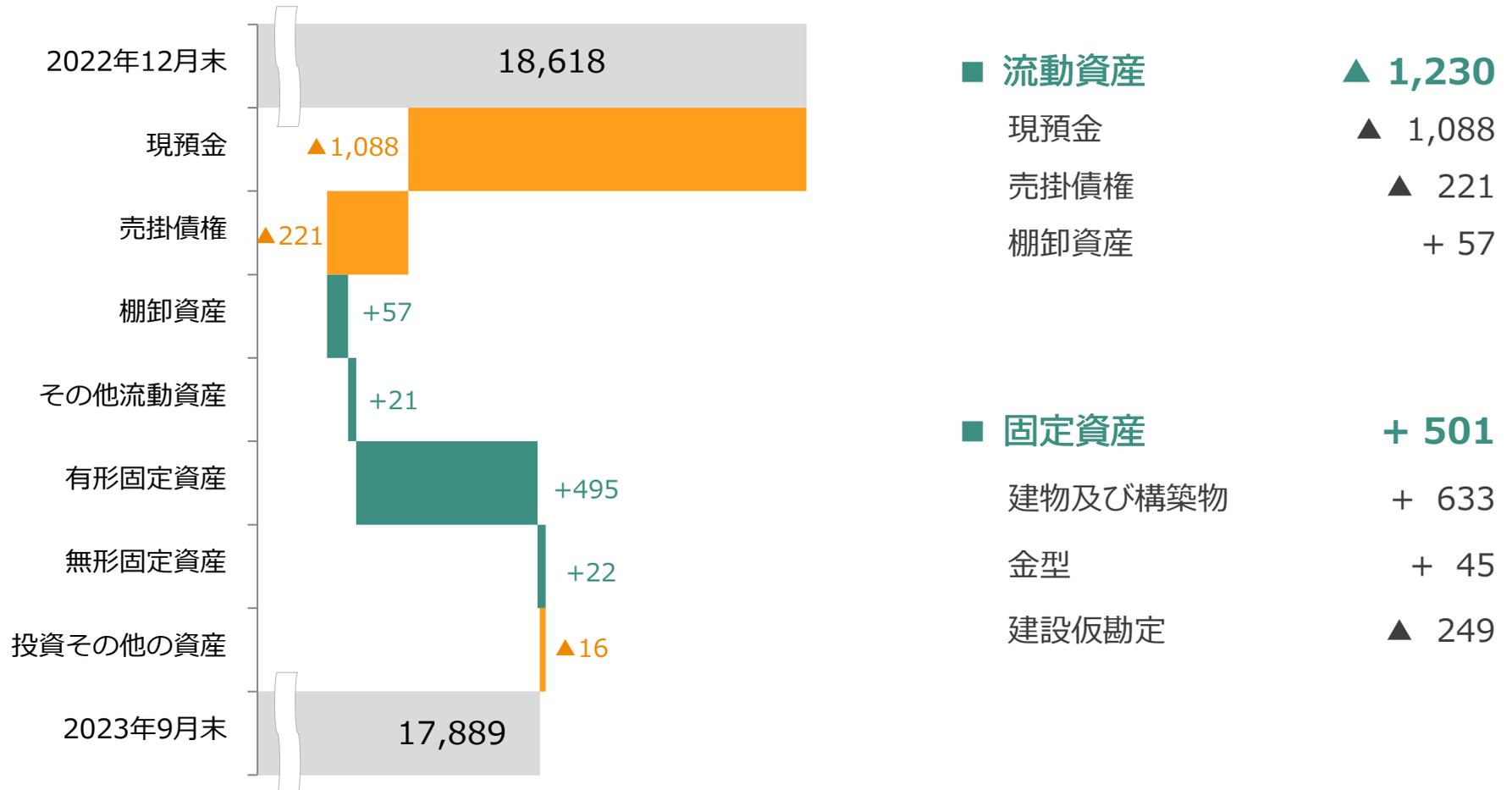
単位：百万円



2. 2023年12月期第3四半期業績概要

2023年12月期第3四半期 連結貸借対照表 資産の部

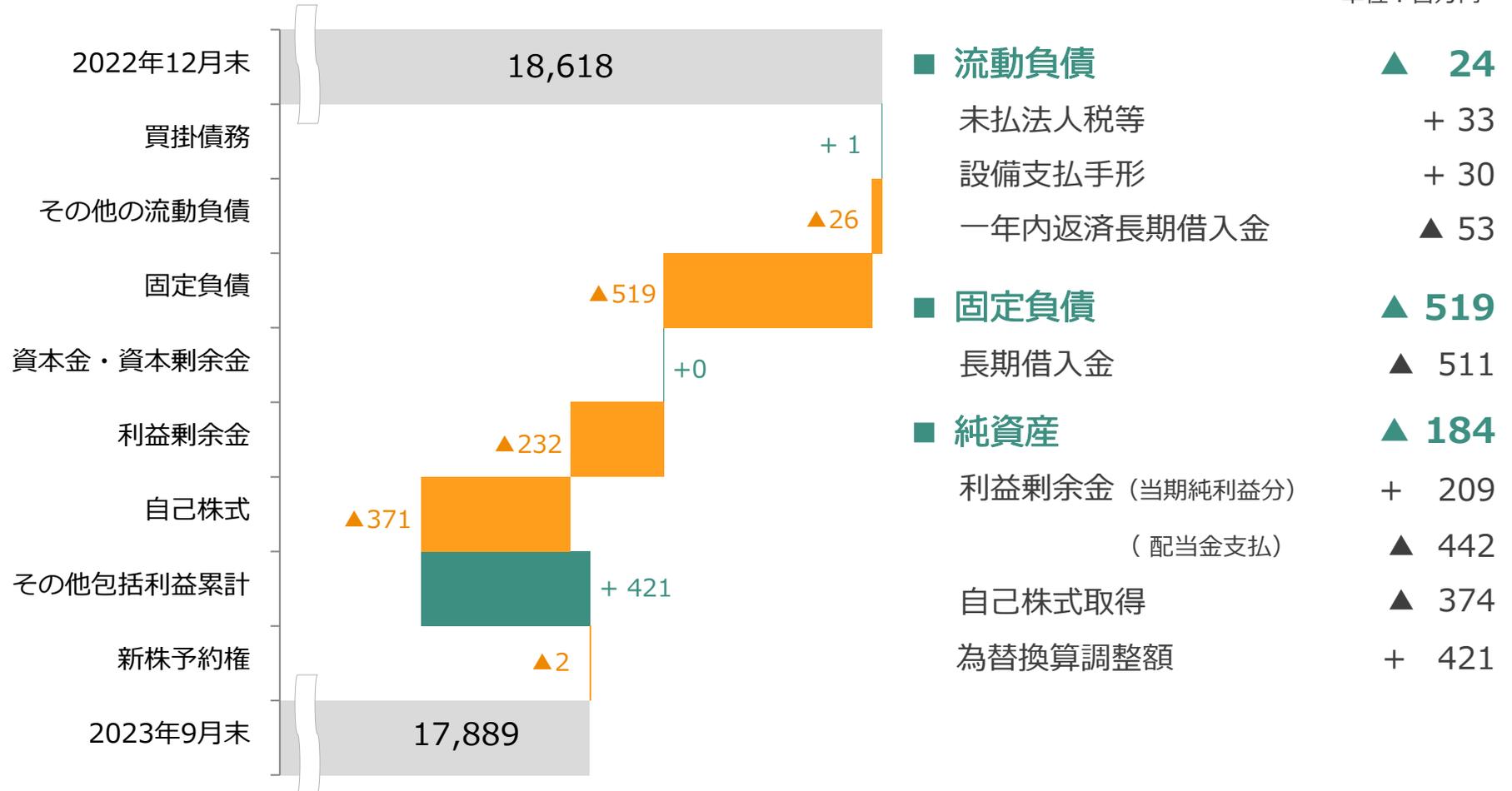
単位：百万円



2. 2023年12月期第3四半期業績概要

2023年12月期第3四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



資料構成

1. 2023年12月期第3四半期トピックス

2. 2023年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2021年からの四半期推移）

(百万円)

地域		2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期
日本	売上高	2,890	3,086	3,196	2,832	2,669	2,923	2,885	2,912	2,710	2,921	2,817
	粗利額	997	981	1,037	925	817	881	828	814	756	822	834
	営業利益	410	327	451	296	220	267	225	208	154	191	231
中国	売上高	871	911	875	886	850	650	989	675	714	602	586
	粗利額	254	282	204	230	229	107	182	131	138	77	102
	営業利益	112	126	35	60	59	▲58	▲23	▲36	▲29	▲92	▲69
欧米	売上高	61	105	66	64	70	39	44	51	24	65	79
	粗利額	13	21	14	12	17	13	13	16	8	14	17
	営業利益	0	7	1	▲6	4	0	0	1	▲7	0	0
その他 アジア	売上高	38	48	40	53	75	83	89	73	114	130	133
	粗利額	▲2	3	0	0	11	12	14	16	25	28	22
	営業利益	▲20	▲13	▲19	▲21	▲9	▲9	▲9	▲13	2	▲2	▲13
連結	売上高	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502	3,654	3,547
	粗利額	1,263	1,288	1,257	1,169	1,077	1,014	1,040	976	929	943	975
	営業利益	503	450	472	328	277	202	195	161	122	98	151

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2018年からの年間推移）

(百万円)

地域		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	12,063	+9.5%	11,741	▲2.7%	11,651	▲0.8%	12,005	+3.0%	11,390	▲5.1%
	粗利額	3,669	+9.7%	3,730	+1.7%	3,917	+5.0%	3,942	+0.6%	3,341	▲15.2%
	営業利益	1,242	+15.3%	1,277	+2.8%	1,429	+11.9%	1,485	+3.9%	922	▲37.9%
中国	売上高	3,921	+26.7%	3,438	▲12.3%	3,149	▲8.4%	3,544	+12.5%	3,165	▲10.7%
	粗利額	1,102	+27.8%	1,003	▲9.0%	993	▲1.0%	971	▲2.2%	651	▲33.0%
	営業利益	515	+52.9%	433	▲15.8%	472	+8.9%	335	▲29.0%	▲59	—
欧米	売上高	289	▲17.5%	164	▲43.0%	184	+12.0%	297	+61.2%	206	▲30.5%
	粗利額	69	▲16.1%	40	▲40.8%	41	+1.7%	62	+49.4%	60	▲2.1%
	営業利益	▲8	—	▲31	—	▲10	—	3	—	7	+147.8%
その他 アジア	売上高	33	+23.4%	69	+106.5%	109	+57.7%	181	+64.7%	321	+77.6%
	粗利額	▲25	—	▲49	—	▲39	—	2	—	55	+2,472%
	営業利益	▲119	—	▲147	—	▲119	—	▲74	—	▲41	—
連結	売上高	16,022	+12.8%	15,196	▲5.2%	14,863	▲2.2%	15,776	+6.1%	14,885	▲5.6%
	粗利額	4,817	+12.0%	4,726	▲1.9%	4,912	+3.9%	4,979	+1.4%	4,107	▲17.5%
	営業利益	1,630	+15.5%	1,538	▲5.7%	1,778	+15.6%	1,754	▲1.3%	836	▲52.4%

3. 参考資料

区分別販売実績（2021年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期
化粧・美容	2,054	2,399	2,380	2,069	2,109	2,293	2,315	2,219	1,998	2,192	2,090
日用・雑貨	249	232	229	219	217	205	215	206	263	255	237
食品・ 健康食品	352	356	389	372	323	326	346	339	337	388	341
化学・医薬	243	244	340	267	200	199	217	188	194	180	212
卸、その他	903	845	765	859	754	628	870	706	707	637	664
合計	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502	3,654	3,547

区分別販売実績（2021年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期
スタンダード ボトル	2,791	2,980	2,993	2,920	2,769	2,759	2,974	2,743	2,677	2,848	2,716
ビスポーク	352	366	417	280	312	292	385	312	333	304	329
他社製品	583	679	634	489	483	589	550	565	465	475	471
材料その他	75	52	60	98	40	12	54	38	25	26	29
合計	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502	3,654	3,547

3. 参考資料

区分別販売実績（2018年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2018年はインバウンド需要もあり売上高は過去最高を記録。2019年は中国のEC規制がきっかけとなり化粧品需要が減少。さらに容器不足に起因する先行調達の反動もあり売上高は大幅減少。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出機会の減少による化粧品向け需要が減少。一方、衛生関連用品の需要は増加。2021年は衛生関連用品需要は一段落したものの、口臭衛生関連は需要増で化学・医薬は伸長。資源循環型パッケージングの伸びも後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大。2022年は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波と繰り返される感染者数増加の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復するまでには至らず前年並み。前年度の口臭衛生関連の需要は一段落し、化学・医薬品は減少

(百万円)

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年		
	金額	構成比	増減率												
化粧・美容	9,651	60.2	13.4	8,802	57.9	▲8.8	8,147	54.8	▲7.4	8,904	56.4	9.3	8,938	60.0	0.4
日用・雑貨	697	4.4	1.8	705	4.6	1.0	1,019	6.9	44.5	930	5.9	▲8.7	845	5.7	▲9.1
食品・健康食品	1,310	8.2	7.3	1,385	9.1	5.7	1,347	9.1	▲2.8	1,470	9.3	9.1	1,335	9.0	▲9.2
化学・医薬	838	5.2	26.6	812	5.3	▲3.1	906	6.1	11.7	1,096	7.0	20.9	805	5.4	▲26.5
卸、その他	3,523	22.0	13.0	3,490	23.0	▲1.0	3,442	23.2	▲1.4	3,374	21.4	▲2.0	2,960	19.9	▲12.3
合計	16,022	100.0	12.8	15,196	100.0	▲5.2	14,863	100.0	▲2.2	15,776	100.0	6.1	14,885	100.0	▲5.6

3. 参考資料

受注実績（2021年からの四半期推移）

(百万円)

	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期
国内	3,380	3,474	2,600	2,924	2,904	3,086	2,894	2,956	2,909	3,026	3,005
海外	996	1,006	951	1,264	787	926	865	819	797	709	677
(うち中国)	875	869	872	1,070	676	781	735	678	640	525	492
連結合計	4,376	4,480	3,551	4,189	3,691	4,012	3,760	3,775	3,707	3,735	3,683

受注実績（2018年からの年間推移）

2018年は国内のインバウンド需要もあり容器需要が旺盛で受注は増加。2019年は容器不足に起因する先行調達の反動と中国のEC規制の影響で受注は大きく減少。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少し、化粧品向け需要が減少するも衛生関連用品の需要が増加。2021年は資源循環型パッケージングの需要増あり。年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少。2022年は国内は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波の影響もあり、化粧品需要は本格的な回復に至らず。中国はゼロコロナ政策による移動制限の影響で需要が停滞。12月にはゼロコロナ政策撤廃も先行き懸念残り消費停滞継続、受注は大幅減。インドは化粧品市場の活況が継続し取引顧客層も拡大中

(百万円)

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	13,608	15.6%	10,815	▲20.5%	12,454	15.2%	12,274	▲1.4%	11,841	▲3.5%
海外	3,875	6.3%	3,812	▲1.6%	3,597	▲5.6%	4,034	12.1%	3,398	▲15.7%
(うち中国)	3,610	9.0%	3,598	▲0.3%	3,258	▲9.5%	3,504	7.6%	2,871	▲18.1%
連結合計	17,484	13.4%	14,627	▲16.3%	16,051	9.7%	16,308	1.6%	15,240	▲6.5%

3. 参考資料

為替レート (PL使用レート)

	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期
円／元	16.38	16.67	16.79	17.04	18.31	18.97	19.38	19.50	19.35	19.46	19.62
円／米ドル	106.09	107.82	108.58	109.90	116.34	123.14	128.30	131.62	132.42	135.00	138.24
円／ユーロ	127.81	129.89	129.87	129.91	130.40	134.39	136.05	138.14	142.16	145.93	149.77
円／ルピー	1.47	1.48	1.48	1.50	1.56	1.62	1.67	1.68	1.62	1.65	1.69
円／バーツ	3.50	3.50	3.45	3.44	3.52	3.65	3.70	3.75	3.91	3.95	4.01

3. 参考資料

金型開発状況 金型の資産状況

3,892型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。2023年3Qで日本の金型の一部をインドへ移動

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年3Q (金型数)
日本	完成金型数	152	123	59	97	93	65	82
	廃却・移動	▲30	▲54	▲80	▲99	▲16	▲30	▲55
	保有金型数	2,273	2,342	2,321	2,319	2,396	2,431	2,458
中国	完成金型数	106	96	74	84	89	32	21
	廃却・移動	▲22	9	7	▲159	▲8	▲19	▲6
	保有金型数	998	1,103	1,184	1,109	1,190	1,203	1,218
オランダ	完成金型数	-	-	19	4	-	-	-
	廃却・移動	-	-	-	-	▲23	-	-
	保有金型数	-	-	19	23	-	-	-
インド	完成金型数	-	18	27	48	45	31	24
	廃却・移動	-	-	-	-	-	-	23
	保有金型数	-	18	45	93	138	169	216
連結	完成金型数合計	258	237	179	233	227	128	129
	保有金型数	3,271	3,463	3,569	3,544	3,724	3,803	3,892
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年3Q (百万円)
連結取得金額		4,706	4,875	4,827	4,654	5,003	5,220	5,498
連結減価償却累計額		▲4,048	▲4,147	▲4,175	▲4,163	▲4,453	▲4,743	▲4,976
連結金型(純額)		657	727	651	490	550	477	522
純額割合		14.0%	14.9%	13.5%	10.3%	11.0%	9.1%	9.5%



竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子

会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

資本金 8億342万1,725円（2023年6月30日現在）

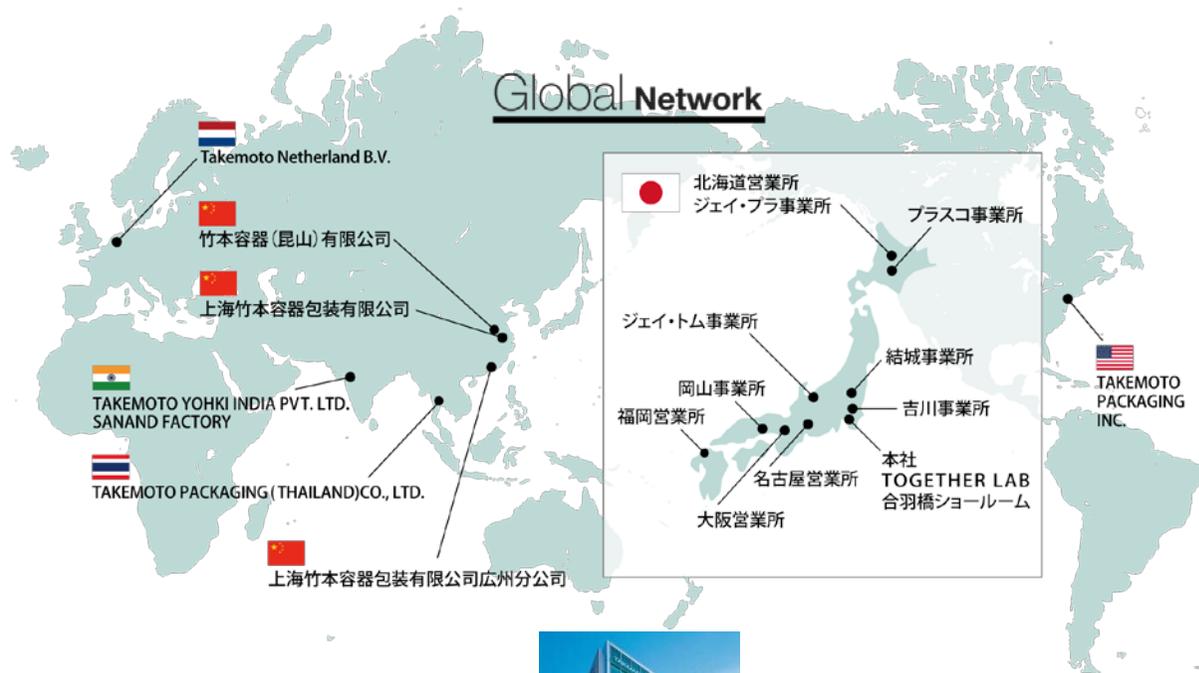
発行済株式数 12,529,200株（2023年6月30日現在）

単元株主数 9,574名（2023年6月30日現在）

グループ従業員数 872名（2023年6月30日現在）

上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
[証券コード：4248]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
容器の製造
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては “ Standout ” な
パッケージングソリューション
創造のために